

日本教育保健学会年報第4号

巻頭言

和唐正勝(宇都宮大学)

第I部 総説

・教育保健試論

澤山信一(吉備国際大学)

第II部 報告

・報告「薬害エイズの顔」赤瀬範保さん

菊池洋(愛媛新聞社)

・エイズで「○○○」を考えるー病気と病者を切り離す視点を育てるためにー

中村ひとみ(岡山県笠岡市立北木小学校)

・定時制の保健の授業 保健の授業で「生きる力」をーその2

平野和弘(埼玉県浦和商业高校)

・「からだとたたかう体」(4年 保健指導)ー「生きる力」のもととは? 認識とその授業ー

加藤修二(宮城県仙台市立長町南小学校)

・「からだ学習」を全校に定着させることをめざして

穴戸洲美(東京都渋谷区立中幡小学校)

・へき地の子どもの視機能と生活・健康状態

上野純子(日本体育大学女子短期大学)・阿部茂明(日本体育大学)

・重度重複障害児への関わりから考える養護教諭の教育的機能

鈴木裕子(神奈川県横浜市立新治養護学校)

第III部 資料

・フォーラム「エイズと教育」

・課題討論「からだを見つめるからだを教える」

・一般演題 座長まとめ

・日本教育保健研究会自主シンポジウム報告 保健教育における「生きる力」とは

・教育課程改訂に向けての提言 これからの学校保健教育のあり方